令和７年度　「志教育」全体計画

様式１

宮城県伊具高等学校

校　訓

質実剛健・穏健着実

本校の教育目標

県の教育基本方針に基づき、総合学科の特色ある多様な教科･科目の選択履修を通した教育によって、地域社会の将来を託すにふさわしい、「生きる智恵」にあふれた人材の育成を目指す。

生徒の実態、教師の願い

素直で純朴な性格を有する生徒が大半を占めているが、中学校時代までの活動で成功体験や成就感・達成感を得た経験が少なく、自己に対して自信が無いことへの裏返しの面も見受けられる。学校生活の諸活動から望ましい社会性を身に付け、自己肯定感を持って自己を表現できるようになって欲しい。

保護者や地域の願い

・ 地域社会の将来を託すにふさわしい人材になって欲しい。
・ 将来は地域産業の担い手となって社会に貢献して欲しい。

「志教育」の目標

１ 基礎的な学力の定着と活用する力の伸長を図る。
２ 一人一人を大切にした生徒指導を推進する。
３ 進路保証100％を目指した進路指導を実現する。

重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
様々な人とのかかわりを通じて、自他の人権を大切にする心、他人を思いやり尊重する心や態度を育てることができるようにする。	職業人インタビュー、企業見学、インターンシップなどの就業体験学習を通じて、個々の適性を理解させる。また、自分の生き方を求めて進路を模索することにより、自分の意志と責任で進路を選択・決定する能力・態度を身に付けさせる。	AMORE運動（あいさつ、身だしなみ、お掃除、ルールを守る、エコライフする）の実践を通して、自らの行動に責任を持ち、主体的に判断・行動し、積極的に自己を生かしていく能力（生きる力）を育成する。

各教育活動における取組の観点

各教科	基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、課題を解決するための思考力・判断力・表現力等の能力を育むとともに社会人として必要な能力と態度を育てる。主体的に学習に取り組む能力と態度を育てる。
道徳	専門教育を通じて、農業・情報・工業・福祉の各分野で学ぶ倫理観や高い志を持つ生徒の育成と、地域や地元を愛し貢献しようとする人材の育成をめざす。
総合的な探究の時間	1年次のライフプラン作成や2年次のインターンシップ、3年次の進路活動を通して、自らの課題を見つけ、その課題に向かって努力する資質や態度を養うとともに、自らの生き方やあり方について考えさせる。
特別活動	学校行事では、全校、年次又はそれらに準ずる集団を単位として、学校生活に秩序と変化を与え、集団への所属感を深め、学校生活の充実と発展に資する体験的な活動を行う。
その他	学校における生徒の基礎的な生活集団として編成したホームルームを単位として、ホームルームや学校の生活への適応を図るとともに、その充実と向上、生徒が当面する諸課題への対応及び健全な生活態度の育成に資する活動を行う。

各学年の取組内容

１年	「産業社会と人間」・「LHR」 ・地域人材講話 ・職業人インタビュー ・上級学校ガイダンス ・企業見学 ・ライフプラン作成・発表
２年	「総合的な探究の時間」・「LHR」 ・インターンシップ ・修学旅行 ・先輩から学ぶ ・キャリアセミナー ・進路に向けての学習 ・進路別オリエンテーション
３年	「総合的な探究の時間」・「LHR」 ・就職・進学対策講座 ・オープンキャンパス参加及び応募前職場見学 ・模擬面接 ・面接セミナー ・フォローアップセミナー

家庭との連携

PTA活動や学校評価、文化祭や公開授業などの機会を通じて、情報交換を図り、将来地域産業の担い手として社会に貢献できる人材の育成に努める。

地域･企業との協働

インターンシップなどの就業体験学習や職業人へのインタビュー、各系列の地域連携活動などにより、望ましい職業観や勤労観の育成を図る。